

令和1年度

事業報告書

社会福祉法人 はぴねす福社会

目 次

令和1年度 事業報告書

法 人 本 部	1 ～ 4
就労継続支援B型事業	5 ～ 9
生活介護事業	10 ～ 12
居宅介護等事業	13 ～ 14
共同生活援助事業	15
手話通訳事業	16 ～ 18
1. 手話通訳設置事業	
2. 手話通訳者及び要約筆記者派遣事業	
3. 手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成研修事業	
4. あゆみの里手話通訳者等派遣事業	
地域活動支援センター事業	19 ～ 21
障害児通所支援事業	22 ～ 24
日中一時支援事業	25
相談支援事業	26 ～ 29
1. 委託、指定相談支援事業	
2. 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点業務	
益田市基幹相談支援センター事業	30 ～ 32

令和1年度 法人本部事業報告書

1. 役員・評議員の状況

	理事（内業務執行理事）	監 事	評議員
定 数	6 （ 1 ）	2	7
現員数	6 （ 1 ）	2	7

理事・監事 任期終了により改選

6月10日、百合本理事長死去に伴い、小田川整子氏が理事候補となり6月21日の評議員会において新理事・監事の選任の承認を受けた。

同日、理事会において岩本悟理事が理事長に就任。

任期 令和1年6月21日～令和3年6月開催予定の定時評議員会まで

評 議 員 任期 平成29年4月1日～令和3年6月開催予定の定時評議員会まで

2. 理事会の開催状況

理事会 年2回以上開催する

(1) 定時理事会 6月上旬、3月中旬に開催

(2) 臨時理事会 上記以外に必要な応じて開催

回数	開催日	審議事項	出席 理事・監事数
1	令和1年 6月6日	議案第1号 平成30年度事業報告書（案）の承認について 議案第2号 平成30年度計算関係書類等（案）の承認について 議案第3号 令和元年度定時評議員会召集の承認について 議案第4号 新理事・監事の選任について	理事5名 監事2名
2	令和1年 6月11日	議案第4号 新理事・監事の選任について 議案第5号 理事長（一時）、理事（一時）の互選について	理事5名 監事2名
3	令和1年 6月14日	議案第4号 新理事・監事の選任について	理事6名 監事2名
4	令和1年 6月19日	議案第4号 新理事・監事の選任について	理事6名 監事2名
5	令和1年 6月21日	議案第6号 新理事・監事の就任同意について 議案第7号 新理事長・新業務執行理事の選定について	理事5名 監事2名
6	令和1年 11月21日	議案第8号 臨時評議員会開催の承認 議案第9号 共同生活援助事業閉鎖の承認	理事6名 監事2名
7	令和2年 3月23日	議案第10号 平成31年度（令和元年度）補正予算案の承認 議案第11号 令和2年度事業計画・収支予算の承認 議案第12号 臨時評議員会開催の承認 議案第13号 基幹相談支援センター事業の廃止について 議案第14号 創立20周年記念行事について 議案第15号 給与規定の一部変更について 議案第16号 経理規程の一部変更について	理事6名 監事2名

3. 評議員会の開催状況

評議委員会 年2回以上開催する

(1) 定時評議員会 6月中旬から下旬に開催

(2) 臨時評議員会 上記以外に必要なに応じて開催

回数	開催日	審議事項	出席 評議員数
1	令和1年 6月21日	第1号議案 平成30年度計算関係書類及び財産目録等の承認について 第2号議案 新理事・監事の選任の承認について	5名
2	令和1年 12月5日	第3号議案 共同生活援助事業閉鎖の承認について	5名
3	令和2年 3月30日	第4号議案 令和元年度（平成31年度）補正予算案の承認について 第5号議案 令和2年度事業計画・収支予算案の承認について 第6号議案 基幹相談支援センター事業の廃止について	5名

4. 監事・会議等

【監査】

- (1) 竹内会計監査 毎月1回実施
- (2) 内部経理監査
- (3) 監事監査 令和1年5月23日、11月15日実施
- (4) 指導監査 令和1年10月17日実施（居宅介護等事業）

【会議】

- (1) 運営会議 毎月1回開催
- (2) 福祉ゾーン連絡協議会 毎月1回開催

5. 委員会

- (1) 苦情解決委員会 平成31年4月11日、12月2日開催
 - (2) 虐待防止委員会 // //
 - (3) 衛生委員会 毎月1回開催
 - (4) 防火管理委員会 毎月1回開催
- 6月5日 : 福祉ゾーン防災訓練（洪水）実施
12月13日 : あゆみの里防災訓練（火事）実施
12月25日 : 児童ディ火災時避難訓練実施

6. 研修・説明会等

【施設外】

- 益田市身体障害者福祉協会総会 令和1年4月20日（市内）
- 西益田地区連絡会 令和1年5月16日（市内）

安全運転管理者等講習	令和1年6月7日 (市内)
益田地域家族会総会	令和1年6月8日 (市内)
障がい者スポーツ大会	令和1年6月16日 (市内)
石西地区人権を考える企業等連絡会	令和1年6月24日 (〃)
労務相談会	令和1年8月7日 (浜田)
高次脳機能障がい者就労支援	令和1年8月18日 (市内)
社会福祉法人経営者協議会及びセミナー	令和1年12月6日 (浜田)
社会福祉法人会計実務研修	令和1年12月9日 (浜田)
障がい福祉サービス経営セミナー	令和1年9月3日 (出雲)
監事研修	令和1年7月9日 (市内)
社会福祉法人経営管理研修	令和1年8月29日 (松江)
障がい者福祉施設あり方検討委員会	令和1年8月30日 (当施設)
労災防止講習会	令和1年9月5日 (市内)
高齢者・障害者助成金説明会	令和1年9月11日 (市内)
津和野町健康まつり	令和1年10月19日 (津和野)
雲南ひまわり福祉会視察研修	令和1年11月1日 (雲南)
法人セミナー	令和1年11月27日 (松江)
益田市社会福祉法人連絡会	令和1年11月28日 設立 (加入)
発達障害支援研修	令和1年12月7日 (市内)
法人監事研修	令和1年12月10日 (浜田)

【施設内】

西益田地域自治組織福祉部会研修	令和1年5月25日
島根大学生職場研修	令和1年6月13日、7月4日
非常灯取り替え工事 (本館のみ)	令和1年8月4日
益田養護学校職場見学	令和1年9月30日

7. 行事等

ブルーライトの集い	平成31年4月2日～8日
あゆみの里まつり	令和1年10月27日

8. その他

共同生活援助事業 (グループホーム) の廃止	令和1年8月31日
基幹相談支援センター事業の廃止	令和2年3月31日

9. 加入団体

- ・ 島根県社会福祉協議会
- ・ 益田市社会福祉協議会
- ・ 石西地区人権を考える企業等連絡会
- ・ 益田鹿足成年後見センター
- ・ 島根県安全運転管理者協会
- ・ 益田地区安全運転管理者協会

- ・ 島根県社会福祉法人経営者協議会
- ・ 独立行政法人福祉医療機構
- ・ 島根県西部勤労者共済会
- ・ 島根県障害者スポーツ協会
- ・ 益田市社会福祉法人連合会（令和1年11月28日設立）

10. 成果と課題

- ・ 役員(理事、監事)の任期終了に伴い、理事会において新理事の選任を行い、評議員会にて新役員が決議された。また、前理事長の突然の死去により新理事、新理事長が選任、議決され新体制が整った。
- ・ 事業収益においては、2期連続の赤字計上となった。益田市の委託料の大幅な削減、期間途中での共同生活援助事業の廃止、基幹相談支援センター事業の廃止等による減少要因はあるが、今後は、各事業所の現状を十分に把握し人員の適正配置に努める。
- ・ 各研修への積極的参加や、当施設への見学や職場研修の受入れも積極的に行い、施設の存在・アピールへつながった。
- ・ 期中においてベテラン職員の退職もあり、求人・人員配置等の人員体制に苦慮している。
- ・ 法人本部体制を早急に整備し、各事業所への指導・フォロー及び命令系統等、内部管理体制の確立が必要。併せて、職員一人ひとりが組織の一員としての意識改革を推進し、協調性の強化を図っていくことが課題。

令和1年度 就労継続支援B型事業（レインボーハウス・たんぽぽ）報告書

1. 登録者数（令和2年3月31日現在）

	身体	精神	知的	合計
レインボー	2名	10名	9名	21名（17名）
たんぽぽ	0名	11名	7名	18名（20名）
合計	2名	21名	16名	39名（37名）

（ ）内は前年度

<新規と終了>

	レインボーハウス	たんぽぽ
新規	4名（3名）	3名（1名）
終了	3名 ・一般就労（1名） ・別事業所へ（2名）	1名 ・別事業所へ（1名）

（ ）内は前年度

2. 就労支援状況

一般就労	社会適応訓練	総合実務科
1名	0名	0名

3. 1か月延べ利用者数（1日平均利用者数）（人）

月	開所日数	令和1年度		平成30年度	
		月利用者数	1日平均利用者数	月利用者数	1日平均利用者数
4月	21	568	27.0	574	28.7
5月	20	545	27.3	566	27.0
6月	20	524	26.2	601	27.3
7月	22	583	26.5	557	26.5
8月	18	474	26.3	568	28.4
9月	19	517	27.2	515	28.6
10月	22	553	25.1	569	25.9
11月	19	478	25.2	572	26.0
12月	20	539	27.0	543	27.2
1月	19	517	27.2	530	28.6
2月	20	555	27.8	528	27.8
3月	22	638	29.0	565	28.3

4. 平均支払い工賃（毎月の平均支払い工賃額）（単位：円）

	令和1年度		平成30年度	
	月額総額	1人あたりの平均	月額総額	1人あたりの平均
4月	333,810	12,363	369,155	11,464
5月	1,433,320	52,502	351,155	10,207
6月	309,820	11,825	388,705	12,034
7月	336,010	12,679	326,485	10,992
8月	269,195	10,235	577,886	20,492
9月	297,375	10,932	325,895	11,009
10月	323,095	12,872	317,950	11,437
11月	285,683	11,336	321,975	11,179
12月	526,712	19,507	625,586	20,714
1月	278,910	10,254	247,980	9,574
2月	288,940	10,393	264,985	9,814
3月	355,860	12,271	583,042	21,918
平均	419,894	15,667	391,733	13,402

※ 毎月の平均支払工賃額＝月の工賃総支給額÷1日平均利用者数

5. 体験利用・実習・見学・ボランティア

- 体験利用 レインボー4名 たんぽぽ3名（体験者全員サービス利用中）
- 実習 益田養護学校（高等部1年2名、高等部2年2名、高等部3年1名）
（益養高等部3年生については4月1日よりレインボーハウス利用中）
明誠高等学校福祉科2年生 2名
- 見学 明誠高等学校福祉科1年生
- ボランティア ・精神福祉ボランティア「こもれび」
レインボーハウス 週1回程度 2名
たんぽぽ 月1回程度 1名

※「こもれび」の皆さまのご厚意により1月7日にレインボーハウスとたんぽぽ利用者に「七草がゆ」をふるまっていた。

- ・サマーボランティアスクール中学生3名
- ・サマーボランティアスクール高校生1名

6. 活動状況

内 容	日にち
お花見（津和野町・なごみの里）	4月1日（月）
ライトイットアップブルーイベント	4月2日（火）
世界自閉症啓発デー映画会出店（グラントワ）	4月6日（土）
柿の木村祭り出店（吉賀町）	5月3日（金・祝）
健康診断	5月31日（金）
福祉ゾーン合同避難訓練	6月5日（水）
障害者スポーツ大会	6月16日（金）
福祉プラザ合同避難訓練	6月17日（月）

平和学習（広島市・平和記念資料館）	6月21日（日）
学習会（歯の健康）	6月28日（金）
福祉ゾーン美化活動	7月4日（月）
きずなまつり出店	7月14日（日）
西部高等技術校ものづくりフェア出店	7月21日（日）
心のコンサート出店	10月5日（土）
福祉ゾーンふれあいまつり	10月27日（日）
就労体験事業	11月10日（日）
健康ますだ市21主催 健康フェスティバル出店	11月17日（日）
福祉ゾーン合同避難訓練	12月13日（水）
益田圏域障がい者就労支援事業所説明会出店	12月14日（金）
学習会&クリスマス会	12月23日（月）
柿本神社初詣	1月6日（月）
新年会	2月11日（火・祝）
学習会（ストレッチ）	2月22日（土）
福祉プラザ合同避難訓練	3月9日（月）
グラントワ	3月20日（月）

7. 職員研修・会議等

○職員研修

内 容	日にち	場 所	人数
食品表示一日完結型研修会	5月29日	浜田市	1
ステップアップセミナー ～利用者の働く力を伸ばす職場づくり～	6月8日	広島市	1
刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育	6月19日	大田市	2
ジョブコーチ養成研修（前期）	7月7日～11日	大阪市	1
強度行動障害者支援者研修（基礎研修）	7月11日～12日	浜田市	1
食品表示作成研修（改正食品衛生法に基づく）	7月16、17日	益田市	2
ジョブコーチ養成研修（後期）	7月21日～25日	大阪市	1
相談支援初任者研修【前期】	7月25日～26日	浜田市	1
福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅職員）	8月6日～7日	浜田市	1
就労支援基礎研修	8月7日～9日	大田市	1
益田圏域高次脳障がい者支援者研修	8月18日	益田市	3
福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者）	8月22日	浜田市	1
就労事業職員施設内研修（発達障がい）	8月30日	レインボー	9

強度行動障害者支援者研修（実践研修）	9月18日～19日	出雲市	1
視察研修（社会福祉法人雲南ひまわり福祉会）	11月1日	雲南市	1
視察研修（社会福祉法人交響）	11月7日	広島市	1
サービス管理責任者研修【基礎】	11月13日～14日	浜田市	1
就労事業職員施設内研修（工賃向上にむけて）	11月16日	レインボー	9
サービス管理責任者更新研修	12月6日	出雲市	1
就労支援実践研修（発達障がいコース）	12月10日	松江市	1
農福連携推進研修会	12月12日	出雲市	1
島根県就労移行支援事業者等研修会	12月14日	益田市	9
振興センター専門家派遣事業（お菓子）	12月18日	レインボー	9
サービス管理責任者現任研修	1月16日	出雲市	1
手書きPOPセミナー	2月5日	浜田市	1
振興センター専門家派遣事業（エスプレッソ）	2月7日	レインボー	9
島根県虐待防止・権利擁護研修	2月12日～13日	松江市	1
益田市ボランティアセンター研修	2月13日	益田市	1
工賃向上実践研修会	2月19日	浜田市	1
人権・権利擁護研修	2月21日	浜田市	1
若い世代の職員（交流）会	2月26日	益田市	2

○会議等

＜外部＞

- ・明誠高等学校実習担当者会議 5月13日
- ・令和1年度島根県障がい者就労事業振興センター通常総会（松江市） 5月29日
- ・サマボラ合同説明会（福祉センター） 6月6日
- ・第1回益田・鹿足地区生活支援会議（益田養護学校） 5月12日
- ・第1回益田圏域障がい者就労支援事業所連絡会（市民学習センター） 6月20日
- ・第1回益田市障がい者就業・生活支援センター連絡会議（人権センター） 6月27日
- ・令和1年度島根県障がい者就労事業振興センター連絡会議（浜田市） 8月5日
- ・第2回益田圏域障がい者就労支援事業所連絡会（市民学習センター） 9月19日
- ・就労継続支援A型事業所マヤファームへの視察 9月24日
- ・第3回益田圏域障がい者就労支援事業所連絡会（吉賀町・アスター） 12月19日
- ・第4回益田圏域障がい者就労支援事業所連絡会（市民学習センター） 2月20日
- ・第2回益田・鹿足地区生活支援会議（益田養護学校） 2月25日
- ・益養就労移行支援会議（益田養護学校） 3月2日

＜内部＞

- ・就労B型職員会議 毎月1回
- ・工賃評価会議 年2回

○社会活動

- ・自死防止週間街頭キャンペーン参加 9月10日 1名
- ・共同募金街頭活動参加 10月1日 2名
- ・人権週間街頭キャンペーン参加 11月27日 1名

◎成果と課題

*成果

- ・印刷事業において、島根県工賃向上支援事業を利用し、益田いらすと名刺の台紙開発及びチラシ開発を行った。島根県障がい者就労事業振興センターの職員の方、益田デザイン工房の方と打ち合わせを重ね、益田でPRしたい図柄を選定し作成。益田市障がい者福祉課に依頼し、益田市役所の異動内示の前に告知したため、50件を超える注文があり、売上も上がり、利用者の工賃アップにもつながった。
- ・島根県障がい者就労事業振興センター専門家派遣を利用し島根県共同募金会から助成していただいたエスプレッソマシーンを使ったラテアートの勉強を行った。イベントでの出店を目指し、まず職員が技術取得し、来年度、利用者に指導していき、いろいろなイベントに出店していきたい。
- ・島根県障がい者就労事業振興センターやJAの協力をいただき、農福連携の事業として玉ねぎを7900株植えた。来年度は、土地の広さも倍になる予定なので、作付けを倍にする予定。

(写真は「のうえんにじ1号」の様子)



- ・島根県初の就労体験事業に参加し、他の就労事業所の利用者と一緒に、益田市で開催されたプロレス大会の会場設営や受付などの仕事に従事。障がい者の働く姿を市民の皆様にご覧いただき、良い機会になった。

(写真は就労体験事業の様子)



- ・いろいろな内容の学習会を企画し、職業準備性の向上や社会性の向上に努めた。

*課題

- ・利用者が増えたため、作業室が手狭になり、身体障がい者の方が動き辛くなっている。作業室の増築等検討していく必要がある。
- ・職員の更なるスキルアップと、統一した支援ができるように内部研修を行っているが、まだまだ職員のスキルが不足している。障がい特性に応じて、適切な支援ができるよう、職員個々のレベルアップ、事業所としてのレベルアップが必要となってくる。
- ・県の工賃支援事業補助金を利用し、地域の民間企業などと連携しながら新しい事業の創出や利用者の工賃アップとなる事業に取り組んでいく。
- ・たんぼぼの移転について、約3年後には明け渡すことが決まっているので、場所の確保など、早急に検討する必要がある。
- ・工賃向上のため、いろいろな作業を行う上で、求められる職員の技術的なスキルも高くなっている。島根県障がい者就労事業振興センターの専門家派遣事業を利用し、職員の技術力アップを図る。
- ・利用者の方の働きやすい環境づくりのため、事業所の職員全体で5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）に取り組まなければいけない。さらに、感染症予防のため、衛生管理をしっかりと行う必要がある。

令和1年度 生活介護事業 事業報告

1 登録者数 40人（令和2年3月31日現在）

2 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延利用者数（人）	311	293	292	335	276	303
開設日数（日）	22	21	20	23	22	21
31年度1日平均（人）	14.1	14.0	14.6	14.6	12.7	14.4
30年度1日平均（人）	15.9	15.0	15.9	15.3	14.6	14.1
益田市延利用者数（人）	294	278	275	317	265	288
その他延利用者数（人）	17	15	17	18	14	15
契約者数（人）	40	40	40	40	40	40
新規契約者数	0	0	0	0	0	1
契約解除者数	0	0	0	0	0	1

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数（人）	356	290	281	289	291	329	3649
開設日数（日）	23	21	20	20	20	22	255
31年度1日平均（人）	15.5	13.8	14.1	14.5	14.6	15.0	14.3
30年度1日平均（人）	14.3	13.3	14.2	13.6	13.5	14.3	14.5
益田市延利用者数（人）	334	275	264	274	275	313	3452
その他延利用者数（人）	22	15	17	15	16	16	197
契約者数（人）	41	41	41	41	41	40	
新規契約者数	1	0	0	0	0	0	2
契約解除者数	0	0	0	0	0	1	2

平成31年度 障害別契約者数（令和2年3月31日現在）			
身体	知的	精神	合計
24人	14人	2人	40人

（男性21名 女性19名 平均年齢52歳）

3 主な活動内容

月	社会参加支援	日中活動（創作・レク）	生産活動（畑作業）	その他
4	ライトイットアップブルーの集い・映画会 (グラントワ) お花見 (向横田、運動公園、)	壁面飾り：あじさい お菓子作り；ホットケーキ レク；ビンゴゲーム	えんどう豆収穫 サラダ菜植え付け	
5		壁面飾り：「令和」 レク；ジャンケンゲーム ジェスチャーゲーム	たまねぎ収穫 トマト、ナス、カボ チャ、いんげん豆、 キュウリ ピーマ ン、里芋の植え付け	
6	万葉公園散策	壁面飾り：あじさい	じゃがいも、サ ラダ菜収穫 さつまいも植え付 け	養護学校実習（高等部） 5日間 近大九州短期大学実習 10日間 三施設合同避難訓練 (水害)
7		壁面飾り：七夕飾り 水族館魚	キュウリ、ナス トマト、いんげん 豆収穫	三施設合同美化活動 (プランター花植え) サマーボランティア (東陽中1名2日間)
8	ショッピング (トライアル)	壁面飾り：ひまわり	カボチャ、ピーマ ン収穫	高校生ボラ1名
9		壁面飾り：コスモス	白菜植え付け	明誠高等学校1年生 視察研修 吉賀の里職員視察研修 給食会議
10	福祉ゾーン ふれあい祭り		さつまいも、ラデ イツシュ、里芋収 穫 高菜、小松菜、ネ ギの植え付け	明誠高等学校実習生 (10日間) (2名) 園芸ボランティア (こもれび)
11	ショッピング (キヌヤSC)	壁面飾り：「子」 お月見展示 正月用「子」書初め	玉ねぎ植え付け 干し柿作り	養護学校実習（高等部） 2名
12		モバイル：雪の結晶 クリスマスツリー作り ツリー飾り付け クリスマス会 正月飾り作り（書初め） 「亥」飾りつけ	ネギ、小松菜、白 菜収穫 えんどう豆植え付 け	養護学校実習（高等部）
1	初詣（柿本神社）	お正月レク 福笑いゲーム ぜんざい振る舞い	大根収穫 高菜収穫	
2		節分祭 (鬼的あてゲーム)		手芸ボラ
3		壁面飾り；桜の花 ひな祭り行事「パネル」 利用者会議	じゃがいも植え	高校生ボラ 給食会議

実施した活動（講座）

- ・ 講座 月1回 エコクラフト、ステンシル、音楽、3B体操
- ・ リハビリテーション 理学リハビリ1回
言語リハビリ1回
(リハビリテーションカレッジ島根)
- ・ ボランティア 大正琴、習字、園芸・手芸（こもれび）手品

4 職員研修・会議

研修内容	開催地
6/19 …… 摂取・嚥下のきほん食事介助のきほん	リハカレ 島根
6/19 …… 衛生委員会研修 ADE 講習会	施設内
8/20 …… 発達障がい勉強会	施設内 就労B
9/26 …… フクダ電子 人工呼吸器操作勉強会	施設内
9/24 3/3 …… 重心親の会	社協
10/16 …… サービス管理責任者研修（前期）	出雲市
11/13～14 …… サービス管理責任者研修（後期）	浜田市
12/13 …… 明誠高校実習報告会	市民学習 センター
2/12～13 …… 虐待防止・権利擁護研修	松江市
2/26 …… 若い世代の研修会	市民学習 センター
2/20 …… 衛生委員会研修 「喫煙について」	施設内

5、成果と課題

- 社会参加目的の外出行事の参加割合が増加した。充電式吸引器を購入し吸引の必要な重度障がい方の外出もできた。また祝日の利用日（買い物・お楽しみ活動）を楽しんでいただけた。祝日利用日も、平日と同様の利用者数を保持できていた。
- 令和2年度より生活介護の利用を希望している養護学校高等部の生徒さんの実習を受け入れた。3学期に入り養護学校の先生からの申し出があり、急遽2月に最終実習を行った。この実習の経験により、4月から利用者・職員の双方が円滑に利用スタートを踏み出せた。
- 上半期に新規利用者が1回の利用で終結となった経験より、新規利用者獲得のため、見学だけでなく短時間の利用体験を実施した。
- 3月に利用者満足度アンケート調査をもとに、利用者会議を開催した。利用者・ご家族からの意見や要望等より新たなニーズの気づきや接遇マナーの見直しを図ることができた。より良いサービス提供のための基礎材料として今後もアンケート調査の実施を継続していきたい。
- ◎同じ内容の事故事例（車椅子転倒事故）を繰り返し起こしてしまった。念入りに状況、原因、再発防止の対策を行なったが、多忙な業務の中、職員の心に余裕がなくなり、慌ただしく介助支援をしてしまった。やるべきことの優先順位を考えて余裕を持った職員の動き、職員間の業務伝達が落ち着いて円滑にできることが特に重要だと感じた。

令和1年度 居宅介護等事業報告書
(居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援)

1. 実績 (居宅介護)

	身体介護		家事援助		通院		合計	
	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
4月	137	195.5	144.25	211.75	16.5	17.5	297.75	424.75
5月	124.5	182.5	164.5	198.25	11	25.5	300	406.25
6月	241.5	177	173.5	196	13	26.5	428	399.5
7月	116.5	176	184.75	200.75	15	32.5	316.25	409.25
8月	126	184	144.25	156	15	19.5	285.25	359.5
9月	110.5	187.5	150	159.75	16.5	22.5	277	332.25
10月	113	205.5	167.5	186.74	12.5	11	293	403.24
11月	107.5	195.5	162	173	20	27.5	289.5	396
12月	101.5	219	184.25	156.5	9.5	14.5	295.25	390
1月	163.5	185	183.75	155	34	22	381.25	362
2月	175	185.5	176.75	145	28	20.5	379.75	351
3月	183	203.5	197.25	162.5	22.5	21.5	402.75	387.5
合計	1699.5	2296.5	2032.75	2101.24	213.5	261	3945.75	4658.74

(同行援護・行動援護・重度訪問介護・移動支援)

	同行援護		行動援護		重度訪問介護		移動支援	
	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
4月	0	42.5	4	3.5	121.5	0	38	15.66
5月	0	44	9	3.5	116.5	0	53.5	24.65
6月	0	38.5	4	3.5	137	0	41	25.29
7月	0	50.5	3	3.5	160.5	0	39	26.58
8月	0	31	3.5	3.5	144.5	0	52.95	25.77
9月	0	41.5	3.5	3.5	149.5	0	36.5	22.09
10月	0	34.5	3.5	3.5	158.5	0	53.5	21.59
11月	0	32.5	3.5	3.5	165	0	50	21.93
12月	0	30	3.5	3.5	145	0	38.5	21.07
1月	0	20.5	3.5	3.5	0	0	48.15	19.86
2月	0	24.5	3.5	3.5	0	0	33.44	22.51
3月	31.5	29	0	3.5	0	0	20.69	23.93
合計	31.5	419	44.5	42	1298	0	505.23	270.93

※ヘルパー会議 月1回(2時間)

2. 利用者数(実人数)

令和2年3月末時点

	平成30年	令和1年
居宅介護	23人	30人
行動援護	2人	1人
重度訪問介護	0人	0人
同行援護	4人	4人
移動支援	5人	6人

3. 職員研修

内 容	日にち	場 所	人 数
同行援護従事者養成研修 (一般課程)	前期 5月28日(火) ～5月29日(水) 後期 6月4日(火) ～6月5日(水)	浜田いわみーる	1名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)	8月28日(水) ～8月29日(木)	浜田いわみーる	1名
接遇マナー研修(法人研修)	11月16日(土)	あゆみの里	4名

◎ 成果と課題

- 外部研修に参加し専門性を高めるための資格取得に努め、体制を整えた。
- 登録ヘルパーの高齢化で、身体介護に対応することが難しくなったため、職員だけではシフトの調整や急な変更の対応が難しくなった。
- 兼務の業務や、訪問で職員がそろってミーティングができないため、情報共有の機会がない。

令和1年度 共同生活援助 事業報告書

1、入居状況（H31.4～R1.7）

○区分別入居者数と年齢

区分 2 3名 (20歳、65歳、68歳)
 区分 3 1名 (45歳)

○障がい種別入居者数

精神障がい者 4名

○利用状況

	神田寮（定員7名）		利用者数 合計	実利用 延べ人数	延べ 利用日数 <small>（定員数×1ヶ月）</small>	利用率 （%）
	男性	女性				
4月	2	2	4	114	210	54
5月	2	2	4	115	217	53
6月	2	2	4	88	210	42
7月	1	0	1	1	217	0.5
8月	/	/	/	/	/	/
9月	/	/	/	/	/	/

※6月に男性1名（68歳）、女性2名（20歳）（45歳）退寮

※7月に男性1名（65歳）退寮

2、活動内容

【日常生活と社会参加】

- ◎利用者ミーティングを行った。
- ◎外出活動として外食に出かけた。（5月）

【防災・環境設備】

4/22 消防設備等検査（出雲ポンプ）

3、生活支援員・世話人研修会

月1回 グループホーム会議
 世話人会

◎成果と課題

- ・平成31年度中の閉寮にむけて入居者の生活の場を調整した。
- ・7月1日をもって入居者全員の退寮が完了したため、8月末付で事業廃止届を提出した。
- ・大家の篠原氏と協議し、9月末で建物を返却した。

令和1年度 手話通訳事業 事業報告

1. 手話通訳設置事業（益田・津和野・吉賀含む）

	H30	R1
通訳対応件数総数 (センター内・センター外)	538件 (324件・214件)	501件 (306件・195件)
通訳時間	823時間56分	949時間40分

○ 職員研修

- ・ 令和1年7月6日～8日 手話通訳者現任研修会
- ・ 令和1年8月22日～23日 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程
- ・ 令和1年12月21日～22日 手話奉仕員養成講師リーダー研修会
- ・ 令和2年2月26日 若い世代の職員研修会

2. 手話通訳者及び要約筆記者派遣事業

登録者数		H30			R1		
		益田	津和野	吉賀	益田	津和野	吉賀
手話	通訳者	7	1		6	1	
	奉仕員	68	13	12	45	10	10
要約筆記	手書き						
	ペンコン						
	筆記者	8	1	1	8	1	1
	奉仕員	11	5	5	9	4	2
	筆記者	5	1		5	1	
	奉仕員	4			3		

派遣件数及び派遣内容		H30		R1	
		手話	要約筆記	手話	要約筆記
	医療	55	3	70	4
	行政	4	3	44	1
	警察・裁判所	1	0	0	1
	教育・労働	4	4	1	0
	生活	32	10	38	10
	講演・会議	18	18	14	19
	その他	6	3	8	8
	合計	120	41	175	43

3. 手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成研修事業

○ 手話奉仕員養成講習会

益 田（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月） 基礎課程修了 16 名(19 名受講)

○ 研修会（益田・津和野・吉賀含む）

参加 延べ人数	手話 (16 回/年)	筆記 (手書き・パソコン各 7 回/年)
益 田	158 名	35 名
津和野	32 名	4 名
吉 賀	24 名	1 名

4. あゆみの里手話通訳者等派遣事業〈独自事業〉

H30			
手話：53 件		要約筆記：34 件	
外部団体：53 件	法人：0 件	外部団体：26	法人：8
R1			
手話：62 件		要約筆記：31 件	
外部団体：60 件	法人：2 件	外部団体：23 件	法人：8 件

5. 成果と課題

○ 手話通訳設置事業

- ・ 本人や家族の医療・介護にかかわる内容の継続的な通訳が増えている。事業所やケアマネなど関係機関との連携を密にしながら、聴覚障がい者の理解(合理的配慮)を広げていくように心がけた。
- ・ 公民館での『手話教室』や小・中・高校での『手話講座』を通して地域の人たちや子どもたちに『手話』だけでなく、聴覚障がいに対しての理解啓発を進めることができた。他の公民館・学校に広げる動きが必要。

○ 手話通訳者及び要約筆記者派遣事業

- ・ 手話奉仕員養成修了後、新たに 15 名の手話奉仕員登録者が誕生した。
- ・ 介護施設利用日に手話通訳派遣を利用してもらうことで、施設職員と当事者をつなぐことができた。また、その現場に新人登録者と設置者が同行することで、新人育成を図った。
- ・ 要約筆記のニーズは年々増加しているが、登録者の数が減ってきている。月によっては派遣が重なり、人数が揃わず派遣できないこともあった。手書き・パソコン共に登録者不足が課題。登録者を増やすためには要約筆記者養成が必要になってくる。島根県と相談をしながら進めていけると良い。
- ・ 休止中や養成修了生の登録希望者の面接を随時可能にしたことで、3 名が手話奉仕員として登録することになった。

○ 手話奉仕員・要約筆記者奉仕員養成研修事業

- ・ 手話登録者の希望もあり『養成の学び直し』の研修会を実施した。講師団が講師を担当することで、登録者の現状を把握し、手話奉仕員養成の指導にもつなげることができた。
- ・ 民生委員対象に『聞こえないことについて』の研修会を開催した。難聴や要約筆記への理解啓発につながり、身近な問題としてとらえてもらうことができた。また、参加された民生委員から要約筆記申請があり、要約筆記利用につなげることができた。
- ・ 登録の条件として研修会参加を提示することで、研修会への参加意識を高めることはできたが、仕事・家庭・子育てと色々な事情で参加できなかった登録者がおり、休止する人が増えている。誰もが参加できるように、研修会の開催日時の検討が必要。

○ あゆみの里手話通訳者等派遣事業

- ・ 派遣方法を変更して9月で1年が経った。年に1, 2回の利用しかない主催や通訳者に対して説明不足な面があった。きちんと理解をしてもらえるような説明を心掛けたい。
- ・ 通訳者からの報告書に対して丁寧なやり取りをするように努めた。
- ・ 活動できる通訳者不足が喫緊の課題。登録者のモチベーションを高めるためにも手話通訳者養成や要約筆記者養成につなげる働きかけが必要。

令和1年度地域活動支援センター事業告報書 益田・津和野

◎開所日数 286 日 (3月31日現在)

◎登録者数 (3月31日現在)

	精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	手帳無	合計	H30年3月末
益田	48	3	0	16	0	8	0	7	82	78
津和野	5	1	0	3	0	2	0	0	11	11

◎延べ利用者数 (4月1日～3月31日)

	精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	その他	合計	H30年合計
益田	1844	415	53	63	0	199	0	215	2789	3105
津和野	217	0	0	0	0	11	0	0	228	303

※その他 は、発達障がいの特徴が顕著な利用者

◎延べサービス提供数 (4月1日～3月31日)

		精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	他	合計	H30 合計	
基礎的 事業	1. 憩いの場の提供	益田	2437	5	31	0	0	245	0	279	2997	3289
		津和野	238	0	0	0	0	12	0	0	250	328
	2. 創作活動・生産活動 仲間作りの機会の提供	益田	1225	0	27	0	0	109	0	570	1931	2029
		津和野	2	0	0	0	0	0	0	0	2	5
3. コミュニケーションや 人間関係づくりの支援	益田	226	1	12	0	0	16	0	43	298	310	
	津和野	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
機能 強化 事業	4. 地域交流活動	益田	105	0	5	0	0	15	0	20	145	132
		津和野	3	0	0	0	0	1	0	0	4	6
	5. 相談 (電話も含む)	益田	844	0	33	3	0	72	0	44	996	1426
津和野		1	0	0	0	0	2	0	0	3	6	
1～5の合計		益田	4837	6	108	3	0	457	0	956	6367	7186
		津和野	244	0	0	0	0	16	0	0	260	345

◎ 成果と課題 (波線部分が課題)

* 専門知識を職員が身につける。積極的に研修会、勉強会に参加する
⇒ 自己研鑽を含め、可能な限り研修会等に参加している。

【参加した研修会・会議】

第1回 地域活動支援センター連絡会(松江)
島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会管理者等研修会(出雲)
松ヶ丘病院家族会連理会研修会(益田)
精神障がい者支援事業所利用者交流会(松江)
第2回地域活動支援センター連絡会(松江)
第51回島根県精神保健福祉大会(浜田)
子ども・若者への向き合い方を学ぶ講演会(益田)
SST(ソーシャルスキルトレーニング) ファーストレベル研修会(広島)
自立支援及び精神保健福祉ボランティア フォローアップ研修会(益田)
島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会 役員会(出雲)
島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会 スタッフ研修会(出雲)

* 一人ひとりの『強み』(得意なこと、興味のあること)を発揮できる時間と場所を積極的に提供することにより、それぞれの自己肯定感を高めていくための支援をする。

⇒ 一部の利用者にはできているが、すべての利用者にまで広げることができていない。

地活を利用する際に、ご自分でやりたいことを準備してこられる方も増えている。また講座の準備などを積極的にして下さる方もいる。「だれかのために何かをする」時にみなさんの『意欲』を感じた。

* 一人ひとりのニーズ(希望や夢)や利用目的等を、その方の立場に立って共有し、希望や夢に向かえるように支援をする。

⇒ ケア会議に呼んでいただくことがあり、各関係機関と役割の確認ができたケースもあった。また、相談支援専門員との連携も少しずつ増えている。

一方で、他サービスの利用がない方については、サービス等利用計画もなく、目的や希望が把握しづらい方もいる。地活として、アセスメントを行い、職員が統一した支援ができるようにしていきたい。

仕事を続けている方については、悩みや愚痴をお聴きすることで、次の日もがんばれるように心がけた。

* コミュニケーションの苦手な方に対し、その特性を把握・尊重しながら、個

別支援（ケースワーク）やグループワーク（SST など）、ソーシャルワーク（関係機関との連携など）の技術を活用し、人間関係づくりの支援をする。

⇒SST の研修に参加し、SST の基礎について学びなおしができたことで内容の良い SST を組み立てることができるようになった。他職員も研修に参加できるとよい。

生活場面でコミュニケーション、人間関係に困っているときや、こちらが気付いた時にはその場で助言を行った。

まだまだ、障がい特性をきちんと理解できず、うまく対応をすることができない時もあった。障がい特性の理解を深めること、また職員の気持ちの安定を図るために職員どうして、利用者支援について検討をする時間をしっかり持ちたい。

*ひきこもりの防止や、ひきこもりの方への支援にも関わられるよう、子ども・若者支援センターや保健所、医療機関とも連携を図ったり、知識、技術を身につけるための研修に積極的に参加する。

⇒地活利用者のご家族であるひきこもりの方について、「ネット輪ーク」(益田市健康増進課主催)でテーマとしてとりあげていただいた。解決策までには至らなかったが、関係機関に知っていただくことができた。また、このケースについては、子ども・若者支援センターと情報共有をしている。

子ども・若者支援センター主催の研修会に参加することができた。

少しずつ動きだしてはいるが、実際に地活のご利用につながったケースはまだない。今後も地道に動いていく必要がある。

*ボランティア活動の充実を図りながら、地域交流、障がい理解の啓発を充実させる。

⇒支える会の会員へ、自閉症啓発デイの企画(青の作品展)に呼びかけを行い参加していただけた。麻雀倶楽部へのボランティア参加が増えた。

しかし、全体的にはボランティアの活動の場が減少している。次年度はこもればの例会へ参加し関係を密にして充実を図っていく。

令和1年度 障害児通所支援事業(放課後等デイサービス)報告書

1. 登録者数 (令和2年3月31日現在)

○市町別

益田市	吉賀町	津和野町
17名	1名	0名

○男女別

男児	女児
12名	6名

○学年別

小学部 1、2年	小学部 3、4年	小学部 5、6年	計
3名	1名	2名	6名
中学部 1年	中学部 2年	中学部 3年	
2名	0名	0名	2名
高等部 1年	高等部 2年	高等部 3年	
2名	3名	5名	10名

2. 実績

	平成30年度 延べ利用者数(1日平均利用人数)	開所 日数	令和1年度 延べ利用者数(1日平均利用人数)	開所 日数
4月	158人(7.5人)	21日	176人(8.8人)	20日
5月	163人(7.7人)	21日	154人(8.1人)	19日
6月	147人(7.0人)	21日	139人(7.0人)	20日
7月	165人(7.8人)	21日	177人(8.0人)	22日
8月	167人(8.3人)	20日	133人(7.8人)	17日
9月	132人(7.3人)	18日	144人(7.5人)	19日
小計	932人(7.6人)	122日	923人(7.8人)	117日
10月	176人(8.0人)	22日	154人(7.7人)	20日
11月	158人(7.5人)	21日	131人(6.5人)	20日
12月	145人(7.6人)	19日	155人(7.7人)	20日
1月	157人(8.2人)	19日	156人(8.2人)	19日
2月	119人(6.2人)	19日	141人(7.8人)	18日
3月	170人(8.5人)	20日	178人(8.4人)	21日
合計	1857人(7.6人)	242日	1838人(7.7人)	235日

3. 活動内容

- ・ 個別指導(20分程度の課題提供) 絵本、マッチング、パズル、型はめ、紐通し
- ・ 外遊び(サッカー、散歩、鬼ごっこなど)、海水浴(津田海岸)
- ・ ドライブ(左鐙小学校、田万川、須佐、久城、二条、美都、万葉公園)
- ・ 社会参加(浜田こども美術館、万葉公園、市内神社)
- ・ 動物とのふれあい(船方牧場、日原の山羊)
- ・ 調理実習(ハンバーグ、カレー、焼きそば、チャーハン、お好み焼きなど)
- ・ 益田市立図書館
- ・ 音楽療法

4. 会議、研修、講演会など

日程	研修、講演会名	場所・人数
毎月1回	職員会議(個別ケース、予定の確認など)	
6月1日	発達支援講演会	大田・1名
6月4日	キラキラ倶楽部見学	益田・5名
6月8日	発達障がいを理解するための研修会	萩・4名
6月19日	AED講習会	あゆみ・4名
7月11・12日	強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	浜田・1名
7月16日	救命救急講習会	益田・1名
9月18・19日	強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	出雲・1名
10月30日	放課後等デイサービス連絡会 研修	あゆっこ・3名
12月11日	放課後等デイサービス連絡会 研修	エクシブ・2名
12月14・15日	第7回 みんなのフォーラム IN 萩 実践報告と検証	EGF・2名
2月16日	島根県高次脳機能障がい者支援研修会	浜田・3名
2月26日	若い世代の職員研修(交流)会	益田・1名

5. 成果と課題

- 児童の障がいに対する専門的な知識や適切な支援方法を学ぶ機会を増やし、適切な支援ができるよう取り組む。
⇒研修に参加し、知識の習得に努め職員間で共有し、適切な支援ができるよう心掛けた。
職員同士で話し合い研修に参加したいが、平日は職員体制が整わず難しい現状もある。

- 個別の障がい特性を理解し、情報を共有しながらスタッフが共通した支援を行う。
⇒子どもの様子を職員会議だけでなく、その都度職員間で話し合う場を設けている。子どもが迷うことがないように共通した支援に心がけている。

- 個々に応じたプログラムを作成し、能力を伸ばしながらできることを増やしていく。
⇒個々の得意なプログラムに取り組むことで自信へと繋げ、苦手な面は段階を経て経験を積み重ねるようにしている。直ぐに成果が出るものではないため、時間をかけ繰り返し行うようにしていく。

- それぞれの強みを見つけていく。
⇒日々の活動や遊びの中で利用者の興味のあることを探しているが、見つけることが難しい。継続して子どもの様子を見ていく。

令和1年度 日中一時支援事業事業報告書

1. 実績

	平成30年度		令和1年度	
	月別利用人数	延べ利用人数	月別利用人数	延べ利用人数
4月	13人	39人	14人	37人
5月	8人	17人	9人	18人
6月	1人	4人	1人	4人
7月	12人	50人	14人	56人
8月	13人	112人	15人	91人
9月	3人	6人	1人	4人
小計	50人	228人	54人	210人
10月	7人	10人	5人	9人
11月	2人	5人	1人	5人
12月	12人	30人	15人	34人
1月	11人	15人	13人	22人
2月	1人	4人	6人	10人
3月	12人	46人	16人	49人
合計	95人	338人	110人	339人
月平均利用人数	7.9人	/	9.1人	/

2. 登録者 17名（障がい者 3名、障がい児 14名）

3. 成果

- ・ 法人全体で協力しているため、ご家族、ご本人のニーズにこたえることができている。

令和1年度 相談支援事業報告書

1、委託・指定相談支援

◎益田市

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	289	271	185	125	30	65	0	879
来所相談	99	99	259	33	7	13	0	466
同行	12	18	27	11	5	2	0	72
電話相談	470	320	529	203	42	135	2	1,466
電子メール	2	0	2	0	0	0	0	2
個別支援会議	40	41	27	48	2	13	0	161
関係機関	1,137	855	729	541	119	384	0	3,330
その他	127	31	29	37	23	22	0	238
計	2,176	1,635	1,787	998	228	634	2	6,614
前年度	1,437	1,522	1,467	848	167	646	10	5,545

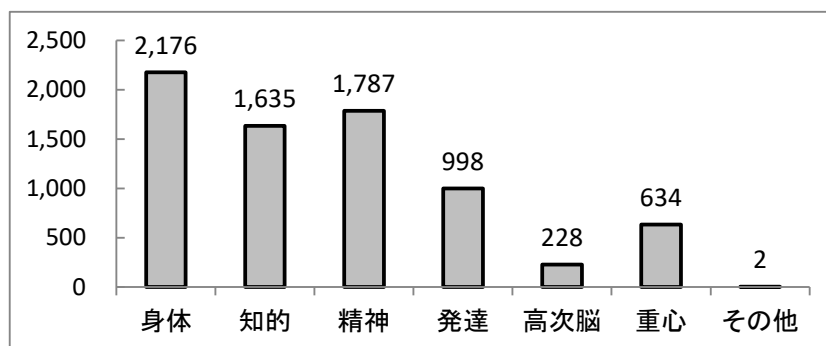
◎津和野町

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	4	6	10	0	5	0	0	21
来所相談	2	5	9	1	2	0	0	17
同行	0	1	0	0	0	0	0	1
電話相談	19	13	1	0	19	0	0	34
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	1	2	1	0	1	0	0	4
関係機関	21	14	61	0	20	0	0	97
その他	7	1	0	0	5	0	0	8
計	54	42	82	1	52	0	0	182
前年度	31	29	78	19	32	0	0	158

◎吉賀町

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	0	0	5	0	0	0	0	5
来所相談	0	0	1	0	0	0	0	1
同行	0	0	0	0	0	0	0	0
電話相談	0	0	1	0	0	0	0	1
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	0	0	1	0	0	0	0	1
関係機関	0	0	6	0	0	0	0	6
その他	0	0	3	0	0	0	0	3
計	0	0	17	0	0	0	0	17
前年度	0	0	22	0	0	0	0	22

障がい種別
(益田市)



◎研修会、会議、その他

	研 修	会 議
4月		・相談支援会議
5月	・ファシリテーター養成研修	・相談支援会議
6月	・心肺蘇生法講習会	・相談支援会議 ・益田障がい者就業・生活支援センター連絡会議 ・ウインド益田ブロック連絡会議 ・益田鹿足地区生活支援会議
7月	・公開授業研究会（養護学校） ・強度行動障害支援者養成研修【基礎】	・相談支援会議
8月	・相談支援従事者初任者研修【ファシリ研修】 ・就労B研修会「発達障がいについて」	・相談支援会議 ・益田圏域自死総合対策連絡会
9月	・相談支援従事者現任者研修【前期】 【ファシリ研修】 ・強度行動障害支援者養成研修【実践】	・相談支援会議 ・重度心身障害児（者）の会 意見交換会
10月	・相談支援従事者初任者研修【ファシリ研修】 ・相談支援従事者現任者研修【中期】 【ファシリ研修】 ・精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業従事者研修会 ・難病ボランティア養成講座	・相談支援会議 ・益田市自立支援協議会 福祉人材育成部会
11月	・相談支援従事者現任者研修【後期】 【ファシリ研修】 ・ファシリテーター研修振り返り ・相談支援従事者スキルアップ研修	・相談支援会議 ・人権週間街頭キャンペーン
12月	・相談支援専門員協会研修会 ・益田圏域相談支援専門員研修会 ・医療的ケア児等コーディネーター研修【前期】	・相談支援会議 ・成年後見定例会
1月	・益田圏域ギャンブル依存研修会 ・医療的ケア児等コーディネーター研修【後期】	・相談支援会議 ・益田障がい者就業・生活支援センター連絡会議
2月	・益田市ボランティアセンター研修会 ・人権権利養護研修	・相談支援会議 ・益田市障がい者虐待防止ネットワーク会議及び差別解消支援地域協議会 ・益田鹿足地区生活支援会議 ・相談支援事業所と市町村との連絡協議会 ・精神障がい者地域移行・地域定着支援益田圏域会議
3月	・高齢者・障がい者虐待防止研修（中止）	・相談支援会議 ・重度心身障害児（者）親の会 意見交換会

※職員会議は毎月、ミニ会議は令和元年7月より毎週実施。

◎成果と課題

・福祉サービス・保育・教育・医療等の関係機関への周知・広報を行い、共通理解や情報共有等の連携を図る。

⇒・関係機関との連携を密に行った。医療(病院・薬局・デイケア)、教育(学校・教育委員会SSW)関係も広がっている。

・当事者主体のサービス等利用計画の作成を行うため、相談支援専門員の知識向上や相談技術の研鑽に励む。

⇒・7月から週1回ミニ会議(事例検討やサービス等利用計画の為の知識、技術を学ぶ)を行っている。

・相談員が変わることで、視点が変わり内容の見直しが出来、良い事もある。

・兼務の場合、モニタリング等の日程調整が難しい。

・圏域のことも考えて行ける相談支援専門員の人材育成をしていく。

⇒・相談員の現任者研修などを通し、他圏域の資源を知り圏域内ではどうなのか、取り入れられないかなどの考えるきっかけになった。

・研修で学んだ方法を、業務の中でいかせるよう工夫した。

2、島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点業務

◎目的：益田圏域において専門的な相談支援、関係機関との地域支援ネットワークの構築・高次脳機能障がいに関する研修等を行い、高次脳機能障がい者に適切な支援が提供される体制整備を図ることを目的とする。

◎相談のべ件数

	電話	来所	訪問	メール	その他	実件数
本人	14	6	24	0	9	53
家族	29	1	1	5	2	38
関係機関	97	15	16	2	0	130
計	140	22	41	7	11	221
前年度	56	22	15	2	4	99

※今年度はコーディネーター（2名）のみのカウントとなった。

◎当事者・家族のつどい 2回実施

- ・ 6月22日 茶話会 : あゆみの里 (13名参加)
- ・ 11月10日 しまね花の郷 : 出雲市西新町 (10名参加)

◎ネットワーク会議 3回実施

- ・ 第1回：5月10日（金）吉賀町（ふれあい会館）29名参加
- ・ 第2回：9月13日（金）津和野町（津和野町社協）26名参加
- ・ 第3回：2月14日（金）益田市（益田合同庁舎）32名参加

◎圏域研修会

- ・ 8月18日（日）10時00分～11時30分
 <講演>「高次脳機能障がい者の就労支援」～働き続けることの素晴らしさ～
 講師：コーディネーター 秋吉 正広様（西部地域地域支援拠点 松ヶ丘病院）
 発表者：主任生活支援員 柳井 成美様（益田障がい者就業・生活支援センターエスポア）
 当事者：福田 裕也様
 <演奏> 和太鼓（当事者所属団体 和太鼓「結」）

◎研修会、会議出席

- ・ 高次脳機能障がい者浜田圏域ネットワーク会議
- ・ 浜田圏域高次脳機能障がい者支援研修会
- ・ 島根県高次脳機能障がい者支援研修会
- ・ 高次脳機能障害地域支援ネットワーク中国ブロック協議会
- ・ 令和元年度島根県高次脳機能障がい者支援研修会

◎成果と課題

- ・ 高次脳機能障がいのある方への支援が充実するよう関係機関との連携を密にする。
 引き続き、地域拠点との連携を密に図る。
 ⇒・ 地域拠点（松ヶ丘病院）と情報共有や連携が少しずつ出来ている。
 ・ 8月実施の圏域研修会には当事者家族、障がい当事者、関係機関の方に参加して頂いた。「本人の思いが聞けて良かった」「地域とのつながりが見えた」等の感想があり、啓発活動が出来た。
- ・ 高次脳当事者、家族のつどいの参加者が増えるよう周知を行う。
 ⇒・ 高次脳当事者、家族のつどいの案内、周知依頼は継続して行っている。
 ・ 当事者は欠席だったが、家族のみの参加が初めてあった。
 ・ つどいを日曜日に開催したが、参加者は増えなかった。

令和1年度 基幹相談支援センター 事業報告書

相談者（児・者）の内訳（重複あり）

相談者	実人数	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次能機能障がい	重症心身障がい	その他
障がい者	17	2	3	10	2	1	0	0
障がい児	3	1	0	0	2	0	0	0
計	20	3	3	10	4	1	0	0

相談内容（重複あり）

相談内容	実件数	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次能機能障がい	重症心身障がい	その他
サービス調整に関すること	99	65	2	27	5	3	0	0
病状や障がいの理解に関すること	9	1	0	7	1	0	0	0
健康・医療等に関すること	31	21	0	7	3	0	0	0
不安の解消・情緒安定に関すること	16	0	3	12	1	0	0	0
保育・教育に関すること	1	0	0	0	1	0	0	0
家族・人間関係に関すること	15	2	6	7	0	0	0	0
家計・経済に関すること	6	0	1	0	5	0	0	0
生活技術に関すること	6	1	2	3	0	1	0	0
就労に関すること	19	17	0	2	0	17	0	0
社会参加・余暇活動に関すること	1	1	0	0	0	0	0	0
権利擁護に関すること	10	0	8	2	0	0	0	0
住居に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0
地域生活移行・自立生活に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分認定調査に関すること	1	0	0	1	0	0	0	0
その他	70	6	11	38	15	1	0	0
計	284	114	33	106	31	22	0	0

支援方法（重複あり）

支援方法	実件数	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次能機能障がい	重症心身障がい	その他
訪問	31	9	1	14	7	1	0	0
来所相談	9	2	6	0	1	0	0	0
同行	3	0	3	0	0	0	0	0
電話相談	60	10	0	46	4	1	0	0
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	8	6	1	0	1	1	0	0
関係機関	125	64	14	34	13	16	0	0
その他	3	2	1	0	0	0	0	0
計	239	93	26	94	26	19	0	0

基幹相談支援センター事業報告書

年月日	研修及び会議等
H31. 4. 16	相談支援会議（市民学習センター）
R1. 5. 9 R1. 5. 10 R1. 5. 14 R1. 5. 21～22	地域生活支援拠点についての話し合い事前打ち合わせ（ラポール宝生苑） 益田圏域高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議（吉賀町ふれあい会館） 地域生活支援拠点についての話し合い（市民学習センター） 相談支援会議（市民学習センター） ファシリテーション研修（出雲合庁）
R1. 6. 12 R1. 6. 18 R1. 6. 19 R1. 6. 21 R1. 6. 27	益田養護学校生活支援会議（益田養護学校） 相談支援会議（市民学習センター） 就学前相談の有り方について（益田市担当者と） ウィンド益田ブロック会議（グラントワ） 第1回益田障がい者就業・生活支援センターエスポア連絡会議（人権センター）
R1. 7. 12 R1. 7. 16 R1. 7. 31	益田市障害者自立支援協議会全体会、福祉人材育成部会（益田市役所） 相談支援会議（市民学習センター） 石見高等看護学院職員研修受け入れ
R1. 8. 21 R1. 8. 22～23 R1. 8. 16 R1. 8. 18	相談支援会議（市民学習センター） ファシリテーター養成研修 実習①（西出雲） 自立支援協議会 福祉人材育成部会 打合せ（ラポール宝生苑） 益田圏域高次脳機能障がい者支援者研修会（人権センター）
R1. 9. 13 R1. 9. 6・24 R1. 9. 17 R1. 9. 24	益田圏域高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議（津和野町） 相談支援会議 人材育成研修会打合せ（津和野町） 相談支援従事者現任者研修 受講者への助言（9/6 2名、9/24 3名 実施） 相談支援会議（市民学習センター） ※訪問入浴についてニーズ集め 益田市在宅重度心身障害児（者）親の会 意見交換会
R1. 10. 3 R1. 10. 10 R1. 10. 16 R1. 10. 24～25 R1. 10. 31	ファシリテーター養成研修 後期①（西出雲） 障がい者地域移行、地域定着支援事業従事者研修会（総合福祉センター） 相談支援会議（市民学習センター） ファシリテーター養成研修 後期②（西出雲） 自立支援協議会 福祉人材育成部会（市役所）
R1. 11. 1 R1. 11. 14 R1. 11. 20 R1. 11. 25～26 R1. 11. 27	雲南ひまわり福祉会（基幹相談支援センター）視察研修（雲南市） ファシリテーター養成研修 振り返り研修（出雲市） 相談支援会議（市民学習センター） 相談支援従事者スキルアップ研修（出雲市） 人権週間街頭キャンペーン

R1. 12. 4～5 R1. 12. 6 R1. 12. 9 R1. 12. 10～11 R1. 12. 18 R1. 12. 19	相談支援専門員協会研修会（2日目 事例提供）（浜田市） 第1回益田市自転車活用推進計画策定委員会（石見空港） 地域生活支援拠点についての検討（ラポール宝生苑） 医療的ケア児等コーディネーター研修前期（江津市） 相談支援会議・相談支援研修会（市民学習センター） 成年後見センター定例会（津和野町）
R2. 1. 15 R2. 1. 16～17 R2. 1. 21 R2. 1. 31	地域生活支援拠点についての話し合い（ラポール宝生苑） 医療的ケア児等コーディネーター研修後期（江津市） 相談支援会議、相談支援研修会（市民学習センター） 医療的ケア児支援のための関係機関の協議（市役所） 自転車活用推進計画策定委員会 障がいのある方へのアンケートについて打ち合わせ（EAGA） ※自立支援協議会 福祉人材育成部会「若い世代の研修会」講師依頼調整 ※大阪池田市より、医療的ケアの必要な方が利用できる資源について問い合わせあり。
R2. 2. 4 R2. 2. 16 R2. 2. 13 R2. 2. 17 R2. 2. 14 R2. 2. 17 R2. 2. 17 R2. 2. 26 R2. 2. 18 R2. 2. 19 R2. 2. 19 R2. 2. 27	精神障害者福祉講演会 シンポジストとして協力 話し合い（松ヶ丘病院） 当日（益田市総合福祉センター） 地域生活支援拠点についての話し合い（ラポール宝生苑） 地域生活支援拠点についての話し合い（市民学習センター） 高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議（益田合同庁舎） 相談支援会議（市民学習センター） 自立支援協議会 福祉人材育成部会 「若い世代の（交流）研修会」 講師 益田様と打ち合わせ 研修会当日、運営 市町村と相談支援事業所の連絡会〈西部〉（浜田合庁） 自立支援協議会 福祉人材育成部会（市民学習センター） 益田鹿足成年後見センター定例会（津和野町） 地域移行・地域定着支援益田圏域会議（益田合庁） ※大阪府池田市 相談支援事業所「くすのき」片山様からの問い合わせに対し 1）島根に帰るとしたら、萩市下小川ということで、「ぴゅありんく」の二本木相談員へ地域の資源を聞いた。 2）益田市内で医療的ケアのある方が利用できる資源をまとめ、現状も含めFAXにてお知らせした。
R2. 3. 2 R2. 3. 3 R2. 3. 13	益田市自転車活用推進計画策定委員会（市役所） 重度心身障がい児（者）を守る会 意見交換会（総合福祉センター） 自立支援協議会 運営会議（市民学習センター）

令和1年度 成果と課題

○市内の相談支援事業所、益田市障がい者福祉課、包括支援センター等が様々な困難事例を抱えていることが分かった。各機関が相談できる窓口が「基幹相談支援センター」なのだと思うが、基幹相談支援センターにはそれだけの人材が必要だと思う。

○益田市の基幹相談支援センターに必要な機能は何なのか、求められている機能は何なのかを、市や他相談支援事業所と一緒話し合い、考える必要があったと反省している。引継ぎ時にこの反省点についてはお伝えした。